

授業科目名： 自閉症児・者への支援	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名： 寺山 千代子 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)	実習指導を星槎大学の学習センター等を使って、必ず行っている。実際の指導場面としては、武蔵野東学園の幼稚園、小・中学校、高等専修学校を訪ねて、担当教師に質問などを行っている。		
科目	特別支援教育に関する科目（免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目）		
各科目に含めることが 必要な事項	心身に支障のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>最近は、「発達障害者支援法」（改正：平成 28 年）の中の発達障害の枠に、自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などが入っている。ここでは、自閉症児・者を中心に、特性を明らかにし、自閉症児・者への理解と支援の方法を習得する。自閉症は、1943年にカナーが一群の特徴的行動を示す幼児に、「早期幼児自閉症」と命名したことに始まる。どのような支援が必要なのかを具体的に考えられ支援できるようにする。自閉スペクトラム症(Autism Spectrum Disorder, 以下 ASD)に併存率の高い注意欠如・多動症(ADHD)、学習障害(LD)などについても知らせておきたい。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>(1) 自閉スペクトラム症(ASD)に関する特性を、DSM-5の診断の基準を参考にまとめる。 (2) 幼児期の支援について、具体的に支援の方法を学ぶ。 (3) 児童期の支援について、学校教育では、どのような支援が必要か、具体的に学ぶ。 (4) 移行期の支援について、学校教育での具体的な支援を学ぶ。 (5) 成人期の支援について、共生社会を考えながら、どのような支援が必要か、具体的に学び、支援ができるようにする。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：発達障害者支援法にみる「発達障害」について。自閉症、注意欠陥多動性障害、学習障害の位置づけなど。 第2回：自閉スペクトラム症の特性を、診断基準(DSM-5)を参考にまとめる。 第3回：認知・行動上の特徴について、言葉、人とのかかわり、こだわりなどの視点からまとめる。 第4回：幼児期の過ごし方—幼稚園・保育園・通園施設・発達障害者支援センターなど。 第5回：母親への支援について、「自閉症を認める」とは何か、そして支援の必要性について考える。 第6回：幼児期には、どのような支援が必要か。生活習慣の形成、ことば・数の獲得など。 第7回：学童期の支援について—就学の場の選択(通常学級、特別支援学級、特別支援学校、通級による指導等)。</p>			

- 第8回：それぞれの場での指導法と支援の実際を学ぶ。通常学級と通級指導教室の利用など。
- 第9回：彼らの特性を考慮した指導と支援を考える。小学部・中学部・高等部での指導・支援の実際。
- 第10回：高等部における指導－自立に向けての支援の在り方。
- 第11回：学校における移行支援教育の導入－社会への旅立ちに向けて。
- 第12回：自閉スペクトラム症児・者の自立における支援－地域社会での共生を考えながら、どのような施設があるかまとめる。
- 第13回：成人期の支援－地域の中での共生社会をめざして。
- 第14回：就労・生活の場の豊かさを求めて、どのような過ごし方が望ましいか。
- 第15回：最近の診断基準「DSM-5」によると、自閉性障害、アスペルガー障害は、「自閉スペクトラム症」「自閉症スペクトラム障害」となっていることを学ぶ。
不注意欠如・多動症(Attention-deficit/hyperactivity disorder: ADHD)、限極性学習障害 (Specific Learning disability: SLD)などについても知らせておきたい。

定期試験

教科書

- (1) 寺山 千代子 (2016) 『自閉スペクトラム症の展開』 金剛出版

参考文献

- (1) American Psychiatric Association(2000): Quick Reference to the Diagnostic Criteria from DSM-IV-TR、高橋三郎、大野裕、染谷俊幸訳 (2003)、精神疾患の分類と診断の手引き、医学書院
- (2) American Psychiatric Association (2013): Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders DSM-5、高橋三郎、大野裕監訳 (2014): DSM-5、精神疾患の診断・統計マニュアル、医学書院
- (3) 寺山 千代子・中根 晃『親 教師のための遅れのある幼児の子育て』教育出版 2003年
- (4) 文部科学省(編)『特別支援学校幼稚部教育要領・小学部・中学部学習指導要領』『特別支援学校高等部学習指導要領』

学生に対する評価

レポート評価(50%)、科目修得試験(50%)の割合で総合して評価する。